

TOPICS 関東大会、出場しました！

去る1月27日(土)、本校演劇部は、大正堂くろいそみるひいホールで行われた関東高等学校演劇研究大会(那須塩原会場)に出場、福田成樹作「インザハウス」を上演し、優良賞を受賞しました。

初の関東大会とあって、全くの未体験ゾーンの只中、観客の皆様の暖かいリアクションに支えられ、この時点の本校演劇部としてはベストパフォーマンスを実現することができました。

本校の上演、そしてこの大会でお世話になったすべての皆様に、厚く御礼申し上げます。

なお、下の写真は全て関東大会の様子。キャプションの自画自賛&楽屋落ちぶりは御愛嬌で・・・。



▲Ⅱ場冒頭。こういうコミカルな日常風景が一番難しい。
ヨウコ(左)が二人分の体重を弾き返して笑いを取る！



▲Ⅱ場。県大会の審査員講評を踏まえ実際に水を流しました。
アヤ(右)の不気味さが際立ち、観客にも大好評でした。



▲Ⅲ場。音響が繊細精妙な技術を発揮する場面ですが、
今回の音響担当は、何と本舞台が事実上のデビュー！



▲Ⅲ場結尾。やはり県大会の審査員講評を踏まえて、テーブル
に皿を置く音に徹底的にこだわりました。



▲Ⅲ→Ⅳ場の場面転換。照明担当が入念なりハを重ね、
シンプルな青転のみで時間と心情の変化を描きつくす！



▲Ⅳ場。上演後、ナツミ(右)の台詞で語られる「オザワ先生」の
性別が議論になるほど、イメージーション溢れる場面を現出！



▲Ⅳ場結尾。エリ(中央)役は、文字通り体を張った
練習を重ねて、この激しいシーンに臨みました。



▲表彰式。錚々たる強豪校に伍しての大舞台でした。

1 部活動の概要（令和6年2月14日現在）

部員数 3年生1名（本年度は澄流祭公演をもって引退）、2年生6名。

練習時間 月・水・金 15:45頃～18:30頃（季節・時期などによって変わる）

火・木 16:45頃～18:30頃（季節・時期などによって変わる）

長期休業中 9:00頃～12:00頃（季節・時期などによって変わる）

活動費用 部費は徴収せず、生徒会予算・同参加登録費などを使用しています。

2 本年度のこれまでの活動および活動予定

4月29日（土） 中毛地区高校演劇祭春季大会（群馬会館ホール）

日高詩・作、本校演劇部潤色『「セイ」に始まり…』

今回の春季大会は、昨年度の古典名作路線から一転。現役の演劇関係の専門学校生（作品発表当時）によるハートフルコメディを、やはり大幅に潤色して上演しました。美術部も兼部している部員の設計による大規模な大道具の作成、名作アニメをモチーフにした劇中劇の創作など、様々な新機軸を打ち出した野心的な舞台をめざしました。



6月10日（土） 本校澄流祭演劇部公演（本校視聴覚室）

中屋敷法仁・作『いまさらキスシーン』、江島裕一郎・作『火事』、恩田麻里・作『警部と刑事の珍問答』

日高詩・作、本校演劇部潤色『「セイ」に始まり…』

久々の文化祭とあって、会場は満員でした。中毛地区春季大会上演作品の再演に加え、部長による一人芝居1本、ショートショートのコメディ2本という、現在の本校演劇部としては異例の盛りだくさんな内容。ホールでの格調高い公演とは打って変わって、部員一同やりたい放題、弾けっぱなし。お客様にも大いにお楽しみいただけたと思います。



9月30日（土） 群馬県総合文化祭演劇部門中毛地区大会（群馬会館）

福田成樹・作『インザハウス』《優秀賞、県大会進出》

『インザハウス』は2018年に発表された高校演劇脚本の名作で、複雑な心理描写に満ちた内容の濃い作品です。今回は、すでに引退した3年生に音響を、2年生の女子生徒に舞台系の賛助をお願いしてこの大作に全力で挑み、優秀賞を受賞して県大会出場を決定しました。



11月3日(金)

群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会（人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター）

福田成樹・作『インザハウス』《優秀賞、関東大会進出》

中毛地区大会と同様に、福田成樹作『インザハウス』を上演して優秀賞を受賞、昭和56(1981)年の本校創設および演劇部設立以来初の関東大会出場を決定しました。



1月27日(土)

関東高等学校演劇研究大会（那須塩原会場）（大正堂くろいそみるひいホール）

福田成樹・作『インザハウス』《優良賞》……前記「TOPICS」を参照

その後の予定

・4月27日(土)・28日(日) 中毛地区高校演劇祭春季大会（群馬会館）に参加する予定。

3 過去の活動

2022年度(令和4年度)

4月30日(土) 中毛地区高校演劇祭春季大会（群馬会館ホール）

三島由紀夫・作『班女』

『班女』は、文豪三島由紀夫の近代能楽脚本の傑作で、久々の古典的名作へのチャレンジです。男性登場人物役には本校男子生徒に賛助出演を依頼し、入部したばかりの1年生部員もスタッフとして活躍。終演後は客席から感嘆のため息が聞こえていました。



9月17日(土) 群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部中毛地区大会（群馬会館ホール）

越智優・作『夏芙蓉』《優秀賞、県大会進出》

『夏芙蓉』は、高校演劇脚本中에서도屈指の有名作品で、過去にも多くの団体により上演されています。今回は、主役以外のキャストおよび全スタッフが1年生という布陣で挑戦し、優秀賞を受賞。26年ぶりの県大会進出を果たしました。



11月12日(土) 群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会（伊勢崎市境総合文化センター）

越智優・作『夏芙蓉』《優良賞》

上記の通り、26年ぶりの県大会です。中毛地区大会以上の舞台をめざし、県教育文化事業団様主催の「次世代文化部応援事業」で生方保光先生のご指導を頂きました。結果は優良賞を頂き、審査員の先生の講評では会話のテンポの良さを高く評価されました。



12月25日(日) 本校吹奏楽部ウィンターコンサートで合同公演(昌賢学園まえばしホール小ホール)

サン＝テグジュペリ原作、津田明日椰・田村陽菜・牧野勇脚本・構成

『EWO Special stage 星の王子さま』

本校吹奏楽部との合同公演は、今回で2度目となります。演劇部も部長を中心に企画段階から参加し、誰もが知る児童文学の名作を吹奏楽部の美しい演奏の合間に上演しました。部員一同、これまでで最も多くのお客様の前で上演した貴重な体験でした。



2月12日(日) 演劇シアターまえばし座 (大胡シャンテマルエホール)

あくまきち・作、本校演劇部潤色『となりの手足』

今回は、伊勢崎清明高校演劇部様と本校演劇部が出演させていただきました。本校は、校内クリスマス公演で上演したサスペンスコメディを、季節柄のバレンタインデーに合わせて大幅に潤色して上演。舞台を二分割するライトワークなど新たな工夫にチャレンジしました。



2021年度(令和3年)

5月4日(火) 中毛地区高校演劇祭春季大会 (群馬会館ホール)

前橋東高校演劇部・作『野っちゃん☆緑 cure』

10月12日(日) 群馬県総合文化祭演劇部門中毛地区大会 (群馬会館ホール)

ひよこ大福・作、本校演劇部・潤色『やがて仄かのアリステラ』《優良賞、次点校》

12月26日(日) 本校吹奏楽部ウィンターコンサートで合同公演(昌賢学園まえばしホール小ホール)

前橋東高校吹奏楽部・原案、曾根愛華・作『前橋東高校演劇部による音楽への誘い』